

月報・石産協 5月号

発行人：井口 健二 発行所：日本石材産業協会

〒101-0046 東京都千代田区神田多町 2-9 日計ビル 2F

編集：日本石材産業協会事務局 発行：2007年5月23日

TEL 03-3251-7671 FAX 03-3251-7681

http://www.japan-stone.org/

「震度6強の地震動がもたらした石材の被害 - 能登半島北部」

平成19年3月25日(日)朝9時41分発生したマグニチュード6.9の能登半島地震によって、輪島市・七尾市など能登半島北部は震度6強の大地震動に襲われました。お墓・燈籠・鳥居などや石材店の展示品が甚大な倒壊損害を受けました。被災した方々に心からお見舞い申し上げます。

江戸時代天領として栄えた能登地方は、北前船による魚介・塩・漆製品などの交易から豊かな経済社会を築き上げており、小さな集落にも立派な神社・仏閣が多くあります。宗派別のお寺が隣接したり、たくさんのお墓が建ち並ぶなか、明治時代の古いお墓が移設・再建されたのも少なくありません。街近くには公営墓地が造成されており、石積み台座上のお墓が見られるなど、石材は実に多彩に使われています。北陸地方に良質の石材が少ないためか、海運の恵みか、お墓や鳥居・燈籠には、萬成石・北木石の瀬戸内や岡崎産の花崗岩などの石材がぜいたくに手加工されています。10年前頃から建立された新しいお墓・燈籠には中国材が多く見られます。

今回、地震の45日後、5月9日と10日の二日間、現場調査を行いました。すでに90%ほど修復されていました。地震直後の修羅場は、石川県能美市の本協会会員中川洋氏と榊石文社によって現場写真が撮られています。これら貴重な記録を参考にして、震度6強による被災状況の概要を写真でお知らせします。(レポート=服部仁)



約60cm 嵩上げされた石組台座上に平成14年頃再建された三つのお墓。手前のお墓はベタコンクリート基礎床に板石を敷き、墓石を載せている。その周りは玉砂利が厚さ3-4cmまかれている。下台から棹石まで全体が約15cm右手に移動したが、転倒しなかった。右手奥の二つのお墓は、基礎床が十分に転倒したが、棹石などには大きな傷がつかず元に戻された。<輪島市門前町走出の總持寺祖院龜山墓地>



緩傾斜地に建つ「藤懸神社」の倒壊した三段笠の鳥居(宇寿石)
<震央至近の能登金剛、志賀町笹波>



この墓地では90%以上転倒した。狭い通路にクレーンを立てて修復中。

<震央至近の輪島市門前町赤神、道の駅から約50m上の丘陵の老人ホームに北隣する墓地>

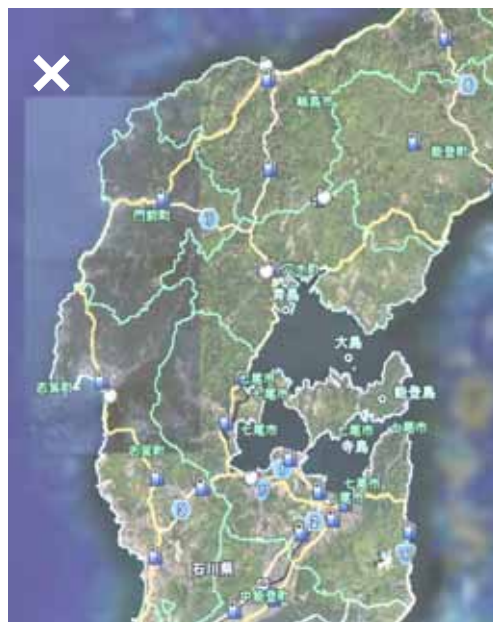


水田を埋め立てた盛土に立地し、工場用敷地のみは地盤改良済み。工場周りの広い敷地は石材製品置き場になっている。地震動の2.3分後に、工場のすぐ横で、山崎社長が指さす箇所から「高さ1.5mほどまで噴水があがった。噴水は10秒弱続いた」との体験談。噴水は地面にできた幅10cm位で延長10mに達する開口亀裂から溢れ出てたもので、地面には砂・泥が積もった。

<總持寺東北東800m、国道249線に面する山崎石材店>



高さ 5mを越す巨大な燈籠は、震度 6 強の地震動で転倒しなかった。しかし、基礎石の地輪と柱(竿)の間、その上の蓮華との間の接合部では、柱底部と上部の端がそれぞれ破断され、岩片が飛び散った。燈籠が全方向に大きく揺れて踊りながら、傷ついたらしい。隣に立つもう一個の類似の燈籠は倒壊した。
<七尾市小島町三丁目
池田石材店展示場：
JR 七尾線線路横 >
(注)柱下部と地輪が黒く見えるのは、にわか雨でぬれたため。



石川県能登半島地震震源地

【最終案内】ワークショップ・総会・ツアー 日本石材産業協会年次大会 2007

翌日のオプションツアー追加あり

日時：2007年6月20日(水)
場所：TOC有明ビル4階コンベンションホール
受付開始：10:30～
開会挨拶：11:00～11:10(館内放送にて)
ワーク：11:10～14:40(3ワーク:15講座)
総会：15:00～17:00
懇親会：17:10～18:30

同封の別紙、年次大会【案内】が最終となります。ワーク参加申込み・総会委任状の未提出の皆様、至急に事務局まで、郵送又はFAXにて提出してください。

尚、翌日のオプションツアーに国会議事堂の見学が追加となりました。先着順にて受け付けます。詳しくは、別紙「ワークショッププログラム」をご確認ください。

【建築・環境部会会議】 部会会議開催のお知らせ

日時：2007年6月20日(水) 13:30～14:40まで
場所：TOC有明4階第3会議室
内容：今後の建築環境部会の活動について
後日、部会員の方に、FAXにてご通知いたします

義援金について

皆様からお預かり致しました、義援金が¥561,000円となりました。この義援金につきましては、この度の地震の支援・援助を地元で行っている石川県石材組合連合会(会長：長谷川健史氏)に直接寄付をし、援助活動・文化石造物の修復等の費用の一部として、役立てる事となりました。多くの会員の皆様の暖かい「志」に感謝し、報告と致します。ありがとうございました。

「事務局よりお知らせ」

石産協ホームページにて月報のカラー版がご覧いただけます。是非、一度閲覧してください。
(いつもモノクロ版で申しわけ御座いません。) <http://www.japan-stone.org/>

事務局便り

07年4月からの活動を簡単に報告いたします。
今月の言葉：「桃季蹊成」 桃季もの言わざれど下自から蹊を成す。

委員会・部会活動報告

消費者ニーズ：生活相談センターへのアンケート調査実施(総会にて報告)
基準策定：基準作りの為の会員向け調査(総会にて中間報告)
石材施工：国土交通省へ石材施工管理士制度設立の協力・支援要請訪問
次世代：埼玉県石材業協会青年部10周年に共催
他委員会・部会：年次大会に向けての協力 支部：各支部の総会開催など

5月23日現在の会員状況

正会員...	1006名
準会員...	37名
合計...	1043名